

# 国保は社会保障 値上げ反対

## きびしい運営

### 検討していく／町長



みや ち よう こ 議員 宮地 葉子

#### 問

今年の6月議会に提出された国保税の値上げ案は、町民の実情を考えて議会は否決した。来年その分を上乗せして値上げをするのなら、議会の意思も町民の現状も無視して、何の努力も工夫もされていないと言える。

国保加入者は他の保険に入れない年金生活者、無職者、失業者、派遣社員などが多く基盤は弱い。最後のセーフティーネットとして国や公が負担をして支えなくてはならな

らしを守る以外、最優先にするものは他にないと思う。国保が社会保障である以上、最後のセーフティーネットとしての対応をするべきだと思うがどうか。

#### 答

大西町長

矢野健康福祉課長

国保事業は医療費の削減のため健診率の向上や、後発医薬品の使用促進などに努めている。しかし運営は大変きびしくなっており、来年度、再度国保運営協議会を開き、国保事業の適正な運営に努めていくよう検討したい。

国への要望は、一つの自治体で声を挙げて国が言うことを聞いてくれるのかと言うことはあるが、国保制度改善協会全国大会で、国庫負担の引き上げ等を決議し、政府へ要望はしている。  
一般会計からの繰り入れをするには環境整備が必要だし、それ相応の理由付けがないと

#### 問

昨年の12月議会でヒブワクチンの助成を求めて質問したが、答えはノーであった。今年になり国とそれに合わせて県も助成を決め、残りの額を町で補うとある。これで細菌性髄膜炎、小児用肺炎球菌、子宮頸ガンを含めた3種類のワクチン接種が無料になる。大変喜ばしい。しかし対象者への周知徹底がなければ、せっかくの制度も半減す

## 無料化のお知らせを

### 対象者に個別通知をする ／地域住民課長

#### ワクチン補助

#### 答

大塚地域住民課長

今年、国は臨時国会で3種類のワクチン接種の半分を助成すると決め、それに合わせて県も助成を行うことになった。町でも子宮頸ガンは枠を広げ高校3年生までを対象にし、3種類のワクチン助成をする。この接種は任意接種なので、より多くの対象者に接種してもらいたく、受診表を同封の上、個別通知を行う。

町民の方へは広報でお知らせする上に、健康推進委員や町の健康づくり婦人会にも文書を出し、広く町民に知らせていきたい。

